

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組11	高齢者、障害者等に配慮した路面電車施設の整備
②対応する目標・課題	地域の福祉・介護	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:健康な高齢者の割合	■目標値:82.7%(H17年度)⇒80%以上(H28年度)
	■評価指標:介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	■目標値:59.5%(H22年度)⇒65.0%(H28年度)
④取組内容 高齢者や障害者のみならず全ての利用者に優しいユニバーサルデザイン対応の停留場を整備する。		
⑤エリア 富山市新富町一丁目地内～富山市丸の内一丁目地内の市内電車の路線		
⑥主体 富山地方鉄道、富山市		
⑦活用した国等の制度 社会資本整備総合交付金(国土交通省) <H24年度>		
⑧地域の関与 【実績】・取組に対する富山市の財政的支援等		
⑨スケジュール		
23年度	県庁前停留場の調査検討 中町停留場の実施設計	
24年度	県庁前停留場の実施設計 中町停留場の整備	
25年度	県庁前停留場の整備	
26年度	新富町停留場の調査検討、実施設計	
27年度	新富町停留場の整備	
28年度		
29年度以降		
⑩他の取組との連携 取組名:ヘルシー&交流タウンの形成 連携内容:ヘルシー&交流タウンの形成にあたっては、高齢者が使いやすい、中心市街地へのアクセス手段の充実が必要であり、高齢者、障害者等に配慮した路面電車施設の整備と連携して取組む。		
⑪自立・自律の方針・目標 ●歩行を基本とした健康の維持・増進による医療・介護費用の抑制 ヘルシー&交流タウンの形成を中心市街地のアクセス面から支えることで、高齢者の歩数の増加と外出行動の促進を図り、医療費や介護費用の抑制を目指す。		